



勸興小学校だより

第 5 号

令和6年7月19日発行

文責 校長 中村 幸江

勸興魂「勉強はベストをつくし 運動はくたくたになるまで」

☆1学期の教育活動へのご協力に感謝いたします☆

【7月13日 多布施川水遊び場開所式より】

今年は梅雨入りが遅かった分、梅雨末期の豪雨が心配されましたが、6月28日の遅延登校を除けば、臨時休校をすることもなく、今日1学期の終業式を迎えることが出来ました。コロナやインフルエンザ、溶連菌感染症にマイコプラズマ肺炎と、感染症に罹患した児童も少なからずいましたが、大きな流行につながることなく、子どもたちが元気に登校することが出来たのも、保護者の皆様のご協力や地域の皆さまの温かい見守りのおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。2学期以降も大雨や台風等で、休校対応や急なお迎えをお願いすることがあるかと思います。このような対応を行う際には、佐賀地方気象台からの降雨量や潮汐情報、学校周辺の状況等の情報を収集し、成章中や神野小と連携した上で、判断しております。何よりもまず、『子どもたちの安全第一』で判断してまいりますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。



さて、本校では昨年度途中より、夏場の暑さ、冬場の寒さ対策として、1学期の終業式と2学期の始業式・終業式、3学期の始業式をリモートで行っています。リモートではありますが、子どもたちは姿勢を正して、電子黒板の画面を見ながらしっかりと参加することが出来ています。ここが勸興小の子どもたちのすばらしさの一つだと感心しているところです。

そんな子どもたちが待ちに待った夏休みがいよいよ始まります。夏休みの過ごし方、各ご家庭で様々と思いますが、どの子にとっても「安心・安全で楽しい夏休み」になることを願っています。

☆1学期『多読賞』の紹介☆

世の中では「活字離れ」が懸念されていますが、ページをめくる時のワクワク感、紙の本でないとも味わうことが出来ません。私も、勸興小の子どもたちに負けないように「1か月に文庫本7冊」という小さな目標を立てて、すき間時間に読書に親しんでいます。子どもたちの読書量には及びません。1学期(4月1日～7月5日)の間に、たくさんの本に親しんだ上位30名を紹介します。

★多読賞(貸出冊数順 上位30名)※敬称略

学年	名 前	冊数	学年	名 前	冊数	学年	名 前
6	久米 実殊	156	4	光野 陽菜	111	3	松本 芽
6	安西 望	154	6	飯田 紗菜	107	5	濱崎 叶菜
2	白濱 青以	150	5	福田 真菜	106	5	日下 真緒
2	平松 和樹	144	5	小部 佑誠	103	4	江口 双六
4	太田 満弓	144	4	谷口 莉奈	103	5	本告 晴
5	後藤 直	142	6	古川 若奈	99	5	國政 明夏
4	古賀 百々花	142	4	古川 佳愛子	98	5	富永 なな
5	川口 侑莉	138	4	納富 優來	97	6	江口 椰子
2	北島 波奈	130	5	古川 敬	95	1	城島 悠杏
5	平松 瑞稀	111	3	安西 優	93	5	徳永 真一

☆交通安全標語の発表式を行いました☆

勸興校区では、平成28年度より交通安全推進活動の一つとして、6年生を対象に交通安全標語を募集しています。今年も6年生が考えた標語の中から4点が選ばれ、その発表式を本日行いました。今年選ばれたのは次の4点です。

	※敬称略
最優秀作品「ヘルメット つけずにカッコ つけないで」	6の1 牧瀬 紗奈
優秀作品「あぶないよ スマホ・イヤホン 運転は」	6の1 徳島 颯花
優秀作品「『これくらい』その気のゆるみが 事故のもと」	6の2 江口 祐斗
優秀作品「見えてるよ 君のマナーと ハンドサイン」	6の2 千代延 優李

本日、終業式の後に、勸興校区交通安全協会の方々に標語の発表と表彰を行っていただきました。最優秀作品に選ばれた牧瀬紗奈さんの標語は、のぼり旗になって校区内に立てられます。また、4つの標語が印刷されたクリアファイルを全児童に贈呈していただきました。このような、地域の交通安全協会と学校とで行う活動は他校区ではあまり見られません。

今後も地域の皆様と協力しながら、子どもたちの安全を見守っていければと思います。

☆子どもと向き合う際の極意～とある記事より～☆

先日、とある記事を読んでいたところ、こんな合言葉を見つけました。『子どもと向き合う際の極意』という表題で、児童精神科の看護師の方が10年に及ぶ臨床経験から編み出した9つの合言葉が掲載されていました。その合言葉は『おすしさいこうかよ』。何ともおいしそうな合言葉ですが、私たち教職員が子どもたちと向き合う時、そして、ご家庭で保護者の方がお子さんと向き合う時にも役立つのではと思い、夏休みを迎えるこの時期に紹介することにしました。

※出典:こど看 著「児童精神科の看護師が伝える子どもの傷つきやすいこころの守りかた」

- ① 脅かさない
- ② すぐに助言しない
- ③ 叱責しない
- ④ 最後まで話を聞く
- ⑤ 意向を軽視しない
- ⑥ 子どもが使う言葉を使う
- ⑦ 疑わずに一旦信じる
- ⑧ 感情を否定しない
- ⑨ 余計なひと言を言わない

大人も人間なので、「これを全部完璧に…」となると、なかなか大変だなと思いつつ、この記事を読みました。と同時に、子どもと本気で向き合わなければならないときに、この合言葉を心に留めておくことで、大人として冷静な対応ができるのではと思いました。

学校現場は、毎年若手の教職員が採用されてきます。子どもたちにどう向き合うべきか、机上で学んではいても、実際はそううまくはいかないことも多く、現場で学んでいかなければならないことがたくさんあります。子どもたちにどう向き合い、学級や学年を

どう作り上げていくか、私たち教職員もこの合言葉も参考にしながら研鑽を積みたいと考えます。

この合言葉は、子どもと向き合う際はもちろんですが、人と人とのコミュニケーションの場で、心がけておくべきとても大事なことです。子どもたちにも、人と接する時の大切な合言葉として、分かりやすく伝えたいと思います。

<夏季休業中の行事予定>

閉庁日 8月13日(火)～15日(木)
全校登校日 8月19日(月)
※下校時刻 11:10
2学期始業式 8月29日(木) ※下校時刻 11:10



☆夏休み明け、ひとまわり大きく成長した子どもたちの笑顔に会えるのを楽しみにしています。